

AVAYA

多地点接続装置 (MCU)
SCOPIA Elite 5000Series

フルHD(1080p/30fps)
H.264 SVC搭載MCU
マルチベンダー対応で優れた
拡張性を実現

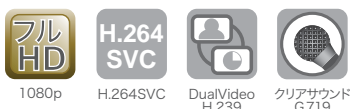


- フルHD(1080p/30fps)のデュアル画面表示
- H.264SVC対応
- スケジューラ・ゲートキーパー・監視ソフトパッケージで一括管理
- PC・スマートフォン・タブレット端末からテレビ会議参加
- 最大28拠点同時表示
- 会議参加者それぞれが選べる24通りの画面分割レイアウト

※VTV ジャパンでは、会議管理ソフト (iVIEW Suite)、ゲートキーパー (ECS Pro)、Web 会議機能 (SCOPIA Desktop)、モバイル参加 (SCOPIA Mobile) をセットにした bundle 版をご提供します。

■ ハイクオリティの映像と音声を実現

フル HD1080p/30fps の高精細な映像は、通信先から送られてくる資料やカメラから遠い参加者の表情までクリアに伝えます。また、H.264SVC で不意にパケットロスが起こっても、会議をトラブルなく継続できます。



■ HD、SD、異メーカー端末との混在可能

異メーカーテレビ会議端末、HD、SD 端末など、さまざまなテレビ会議端末が混在していても問題なく接続・テレビ会議が行えます。また、テレプレゼンスシステムとの混在会議も可能です。



■ 最大 28 画面分割、テレプレゼンスにも対応

接続されているテレビ会議端末はそれぞれ処理されるので、会議参加者は好みの画面レイアウトを自由に選ぶことができ、最大 28 拠点まで同時表示できます。また、テレプレゼンス・システムのパノラマ画面も同時に表示することができます。



■ PC やモバイルからの会議参加が可能

PC やスマートフォン・タブレット端末からの会議参加が可能です。出張先や外出先からの参加はもちろん、テレビ会議端末を持たない取引先に導入コストの負担なしに会議に参加させることができます。



PC・モバイル
混在会議



Avaya について

Avaya SCOPIA ビデオ会議ソリューションは、1992 年に設立された RADVISION 社の革新的なビデオ会議製品としてスタートしました。多地点接続装置やネットワーク製品を中核に、ビデオ会議ソリューションを提供しています。現在は、Avaya のビデオ事業部門として同社のユニファイド・コミュニケーションビジネスの一翼を担っています。

VTV ジャパンについて

1995 年設立以来、テレビ会議・Web 会議システムの機器販売、およびレンタル、同システムに関する保守サービスを提供する、テレビ会議関連製品に特化したマルチベンダーです。国内および海外のさまざまな法人・団体へ導入実績があります。2010 年より自社独自開発によるテレビ会議カスタマイズソリューションの提供も開始しました。



詳細はホームページでも
ご紹介しています。

VTV サイト : www.vtv.co.jp/product/radvision/elite5230.html
Avaya 製品サイト : www.vcsolution.jp/network/elite5000.html

SCOPIA Elite 5000 Series

MCU 機器基本構成



製品仕様

	Elite5105	Elite5110	Elite5115	Elite5230
サイズ	1 U	1 U	1 U	3 U ATCA シャーシ
HD(720p/30fps) 分割画面時の最大ポート数	5	10	15	30
フル HD(1080p/30fps) 単割画面時の最大ポート数	20	40	60	120
標準拡張解像度 (352p/4CIF) の分割画面時の最大ポート数 *1	20	40	60	120
標準拡張解像度 (480p/30fps) 分割画面時のポート数 *1	10	20	30	60

信号プロトコル

- ・ H.323, SIP, H.320 *2
- ・ IPv4, IPv6

音声サポート

- ・ コーデック - G.711, G.722, G.722.1, G.729, MPEG4 AAC-LC, Polycom®Siren14TM/G.722.1Annex C
- ・ 会議参加者の入退室時のトーン設定
- ・ DTMF トーンの検知 (インバンド, H.245 トーン及び RFC2833)

ビデオサポート

- ・ 1080p/30fps 及び 720p/60fps までの HD 分割表示画面
- ・ コーデック - H.261, H.263, H.263+, H.264, H.264 SVC
- ・ 動画解像度 - QCIF から 1080p まで
- ・ プレゼンテーション画像解像度 - WUXGA まで
- ・ ビデオ帯域 - 12Mbps まで

拡張ビデオ処理機構

- ・ 会議参加人数に制限なく安定した画像品質とフレームレートの提供
- ・ ひとつの表示画面上で 24 種類のレイアウト、28 拠点まで同時に一画面上に表示可能
- ・ 会議参加者毎にパーソナライズされた画面レイアウトが可能
- ・ DTMF によるカスタマイズされたレイアウトの制御が可能
- ・ テレビ画面サイズに自動調整
- ・ 会議参加者数に応じた動的なレイアウト変更が可能
- ・ 拡張レクチャーモードでクラスルームのような環境が可能

オンスクリーンビデオメニュー機能

- ・ テレビ会議の進行役が使い易いメニュー
- ・ テキストオーバーレイ (例: 会議参加者の名前)
- ・ プレゼンター (発表者) の識別
- ・ ユーザーの会議への参加 / 離席表示
- ・ 音声 / ビデオのミュート / アンミュート
- ・ 音声のみのユーザー参加数の表示
- ・ 音声のみ発言者の名前表示
- ・ 暗号化された会議の表示
- ・ 会議録画中の表示

データコラボレーション・プレゼンテーション共有機能

- ・ H.239 (H.323) 及び BFCP (SIP) によるプレゼンテーションの共有

セキュリティ

- ・ JITC 認定
- ・ H.235 AES 暗号化による安全な会議
- ・ パスワードで保護された Web GUI ユーザーアクセス: 管理者、オペレーター、ユーザーの各レベル毎に設定が可能
- ・ PIN で保護された会議
- ・ HTTPS によるセキュリティ管理
- ・ Transport Layer Security (TLS) 及び Secure Real-time Transport Protocol (SRTP)
- ・ メディアと管理用ネットワークの物理的な分離

Web ベースの監視と制御機能

- ・ ユーザーにやさしい Web インターフェースで MCU の構成変更とテレビ会議の運用が容易

テレビ会議自動参加支援機能

- ・ リーディング番号
- ・ IP ダイアリング
- ・ 多種言語のサポート
- ・ 分散自動化会議参加支援機能 (iVIEW Suite)
- ・ カスタマイズ可能な音声案内

会議端末制御機能

- ・ H.243
- ・ DTMF

QoS

- ・ DiffServ, TOS, IP プレゼンス

*1. ライセンスキャパシティオプションが必要となり、480p と 352p のいずれかの選択となります。
*2. H.320 に対応するには、SCOPIA H.320 Gateway が必要になります。

シャーシ仕様

SCOPIA Elite 5200 シャーシ

- ・ 高さ: 3U; 幅: 448 mm (17.6"); 奥行: 400 mm (15.75")
- ・ 19 インチラックマウント (フレンジ付き)
- ・ 重量: およそ 17kg (37 lbs) シャーシ満載時 (1 電源ユニット)
- ・ 90-264 VAC, 50/60 Hz ホットスワップ可能な冗長 AC 電源ユニット (オプション)
- ・ 48VDC ホットスワップ可能な冗長 DC PEM (オプション)
- ・ ホットスワップ可能な冗長クーリングシステム
- ・ ホットスワップ可能なインテリジェントシェルブ管理ブレード
- ・ ブレード間高速接続バックプレーン

SCOPIA Elite 5100 シャーシ

- ・ 高さ: 1U; 幅: 448 mm (17.6"); 奥行: 480 mm (18.9")
- ・ 19 インチラックマウント (フレンジ付き)
- ・ 重量: およそ 8.5kg (18.75 lbs)
- ・ 90-264 VAC, 50/60Hz

環境特性

- ・ 稼働時温度: 0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)
- ・ 保管時温度: -25°C ~ 70°C (-13°F ~ 158°F), 環境温度
- ・ 相対湿度: 5% ~ 90% (但し結露しないこと)